事務事業名		大船渡新春四大マラソン大会運営支援事業			☐ 実施計画登載事業	☐ 合併建設計画登載事業		
政策体系	政策名	0:6: 豊かな心を育む人づくりの推進			事業期間			
	施策名	2:9: 生涯スポーツの振興						
	基本事業名	0:3: スポーツ・レクリエーション活動の振興			☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 527? 年度~) ☐ 期間限定複数年度 (計画期間) 年度 ~ 年度 ↓ 全体計画欄の総投入量を記入			
根拠法令								
所属	部課名	教育委員会事務局生涯学習課						
	係名	体育振興係	電話	27-3111	予算科目 会計 款 項 目 事業 01 10 06 01 02			
			内線	275				
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) ・10マイルロードレース岩手県大会、10キロロードレース岩手県大会、岩手県南地区駅伝競走大会、岩手県南地区中学校対抗駅伝競走大会の四大会を1月に開催する。 ・市の事務は、主催団体の一員として大会実行委員会(事務局:大船渡市体育協会)への参加、コース設定に係る警察折衝、実行委員会事務局の運営補助、当日の大会運営全般へ携わる。 ・事業費は、大会実行委員会への補助金である。					全体計画(期間限定複数年度のみ)			
					総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金	
						財源内訳	都道府県支出金	
							地方債	
							その他	
							一般財源	
						事業費計(A)	0	
					人件費	正規職員従事人数		
						延べ業務時間		
						人件費計(B)	0	
						トータルコスト(A)+(B)	0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)		
手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 10マイルロードレース岩手県大会、10キロロードレース岩手県大会、県南地区駅伝競走大会、県南地区中学校対抗駅伝競走大会の開催。 今年度計画(今年度に計画している主な活動) 前年度と同じ。		名称	単位	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 県内マラソン・駅伝愛好家 県内の中高生		ア	募集要項発送数	通
		イ		
		ウ		
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 参加者が増加し、マラソン競技の普及拡大が図られる 中学生の体力づくりが促進される		対象指標(対象の大きさを表す指標)		
		名称	単位	
		カ	募集要項発送数(一般対象)	通
結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) スポーツ・レクリエーションが活発に行われる。		キ	県内中学校・高校数	校
		ク		
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		
		名称	単位	
		サ	大会参加者数	人
		シ	市外からの参加者数	人
		ス		

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	17年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(目標)	22年度(目標)
投入量	事業費	単位						
		千円						
		国庫支出金						
		都道府県支出金						
		地方債						
	千円							
	その他							
	千円							
	一般財源		500	500	500	1,003	1,500	1,500
	千円		500	500	500	1,003	1,500	1,500
事業費計(A)								
人件費								
正規職員従事人数	人	7	2	2	2	2	2	
延べ業務時間	時間	1,680	480	480	480	480	480	
人件費計(B)	千円	6,720	1,920	1,920	1,920	1,920	1,920	
千円		7,220	2,420	2,420	2,923	3,420	3,420	
		トータルコスト(A)+(B)						
		千円						
活動指標	ア	通	682	639	716	720	740	760
	イ							
	ウ							
対象指標	カ	通	369	341	418	646	370	380
	キ	校	291	288	277	186	300	300
	ク							
成果指標	サ	人	2406	2413	2149	2189	2550	2600
	シ	人	1680	1605	1770	1650	1700	1750
	ス							

事務事業ID	1008	事務事業名	大船渡新春四大マラソン大会運営支援事業
--------	------	-------	---------------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	
昭和27年に県南地区駅伝競走大会が開催され、その後、三大会が追加された。平成13年に10マイルロードレースが50回を数えたことを契機として、これまで開催してきた四大大会(10マイルロードレース・10キロロードレース・県南地区駅伝競走・県南地区中学校対抗駅伝競走)を総称して新春四大マラソンと称し、以後岩手県陸上競技界の新年を飾る行事として定着している。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	
<ul style="list-style-type: none"> 平成18年度からの指定管理者制度の導入に伴い、本大会の運営を指定管理業務とし、その受託者である大船渡市体育協会が大会事務局業務を行った。 10マイルロードレースについて、50回を契機として、ハーフマラソン大会へ移行したが、参加者数の減少及び交通事情への影響に伴い、平成18年度より10マイルロードレースへ戻した。 大会運営が困難となってきたことから、駅伝の出場チームの制限を中学校3チームから、一般・中学校ともに2チームまでとし、参加料を値上げした。 記録集計の迅速化及び競技役員配置の効率化を図るため、平成19年度の大会から一部においてRCチップによる記録集計の自動化を図った。 	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	
警察署より、スタート・ゴール地点を現在地(盛駅前市道)からグラウンド等が付近にある場所へ移動したほうがよいと指導されている。	

2. 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある [理由] ↘ ☒ 結びついている [理由] ↘ 陸上競技(マラソン・駅伝)の普及・振興を図ることによって、スポーツ・レクリエーション活動の振興に寄与している。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] ↘ ☒ 妥当である [理由] ↘ 市民の体力づくり等のスポーツ振興や、他市町村からの参加により大船渡市の地域活性化に寄与していることをかんがみ、市が関与することが適切である。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] ↘ ☒ 適切である [理由] ↘ 出場チーム数の制限はあるものの参加対象は適切である。意図は競技人口の増加であり、適切である。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
有効性 評価	成果の向上余地	☒ 向上余地がある [理由] ↘ ☐ 向上余地がない [理由] ↘ ・参加者が増えた場合、現在の競技運営方法では、駅伝中継所及び各種目ゴール地点において十分に運営することは出来なくなることから、RCチップの導入を図り、競技の効率化を図る必要がある。 ・平成19年度からロードレース及び駅伝の一部(第一中継所・ゴール)でRCチップによる記録集計の自動化を図っているが、駅伝の各中継所に導入することにより、競技の効率化を図る必要がある。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 [理由] ↘ ☒ 影響有 [その内容] ↘ ・マラソン・駅伝愛好家の大会出場機会が減少する。 ・他市町村から大船渡市へ来訪する機会が減少する。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある ↘ (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる [理由] ↘ ☒ 統廃合・連携ができない [理由] ↘ 競技スケジュールが過密するため警察からの道路使用許可が下りにくい、規模が大きくなることに伴い競技運営の体制が整わない。 ☐ 他に手段がない [理由] ↘	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
効率性 評価	事業費の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] ↘ ☒ 削減余地がない [理由] ↘ 競技役員は陸上競技関係者がボランティアで行っているため、これ以上の事業費削減は他大会と比較してサービスが低下することとなり、困難であると考える。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] ↘ ☒ 削減余地がない [理由] ↘ 陸上競技関係者や体育協会加盟の単位協会からのボランティアにより競技運営がなされていることに加え、平成18年度より指定管理者制度を導入し職員の関与を減らしており、これ以上の人件費削減は困難であると考える。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある [理由] ↘ ☒ 公平・公正である [理由] ↘ 各参加者から参加料を徴収しているため、受益者負担は公平・公正であると考える。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点) RCチップの導入による記録集計の自動化を図ったが、おおむね問題なく大会を運営することができた。 それに伴い、コストの増加が懸念されたが、他の経費を節減することにより、参加料の値上げをすることなく運営した。</p>									
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																				
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) </div> <p>(上記方向性に対する具体的な内容) RCチップによる記録集計の自動化を全てに導入することによって、更なる運営の効率化参加者の拡大を可能にする。 この場合は、コストが増加するため、その捻出方法を考慮する(参加料の値上げ又は補助金増)必要がある。</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 参加者の拡大・他大会との統合を図る場合には、道路使用の関係上、大会関係者と警察との協議を十分に行う必要がある。 現在のスタート・ゴールに変わる地点(現在地ではウォーミングアップをする場所が道路となるため危険・周辺の駐車場不足・交通量の比較的多い地点を通行止めとしていることへの懸念)の設定が必要である。 スタート・ゴール地点を変更するに当たっては、現在の日本陸上競技連盟公認マラソンコースの抜本的な見直しが必要となる。</p>																						

(職名) 原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	生涯学習課長	
-------	--------	--

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている <p>評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																						
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由 RCチップによる記録集計を増やし、計測作業の迅速化を見直す余地がある。</p>									
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																				
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) </div> <p>(上記方向性に対する具体的な内容) 継続して事務事業を実施する。RCチップによる記録箇所を増やし、大会運営の効率化を図る。</p>	<p>(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項